

# 出資法人等経営状況報告書

## 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年8月25日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	-----------	------	---------------

※以下は令和4年3月31日現在の内容です。

## 2 法人等の概要

法人名	株式会社 よしかわ杜氏の郷		
代表者	代表取締役 野口 和広		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input type="checkbox"/> プロパー <input checked="" type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区杜氏の郷1番地		
設立年月日	平成11年3月24日		
資本金	92,075千円	市出資割合	82.6%
設立目的	酒米の生産と地酒醸造による消費者との結び付きにより地域農業の発展、農家所得の向上を図るため。		
主な事業	(1) 酒類の製造・販売 (2) 道の駅よしかわ杜氏の郷の管理運営		

## 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	3	3	2	1	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	4	4	3	1	0

## 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	6	6	0
計	10	10	0

## 5 事業実績（概要）

### 【第24期の経営状況】

- ・売上高は、前期と比較して10,844千円増（19.6%増）の66,179千円となりました。依然として新型コロナウイルスの感染症拡大の影響を受け、コロナ禍前の売上水準には至らなかったものの、新たな商品の開発・販売やイベントの開催等により、前期よりも売上高を増やすことができました。
- ・販売費及び一般管理費は、イベント等に参加したことに伴い旅費や広告宣伝費が増加するなど、前期と比較して3,510千円増（14.2%増）の28,309千円となりました。
- ・これにより、営業利益は△10,628千円となり、国や県、市からの各種助成金、補助金などによる営業外収益があったことから、経常利益は△2,987千円となりました。
- ・この結果、当期純利益は△3,167千円を計上し、前期から3,824千円改善したものの7期連続で単年度赤字となりました。
- ・第24期末の累積欠損金は、前期に行った減資に伴う欠損填補があったことから、当期純損失と同額の3,167千円となりました。

### 【第24期の主な取組】

- ・コロナ禍においても売上増加を目指し、普段日本酒に親しみが少ない若者や女性をターゲットに据え、「県内ミュージシャンとのコラボ日本酒」や「ゆず酒」の開発・販売を行いました。
- ・店内での総菜販売により日本酒購入を促す取組や、道の駅のそば祭りにおいて「新酒と新そばのコラボセット」を販売するなど店舗売上の向上を図りました。
- ・売上増加や経費削減に取り組んだほか、コロナ禍により販売量の見通しが立たないことや依然として厳しい経営環境であることから、生産量や在庫量を調整し、赤字幅の縮減に努めました。

### 【店舗利用状況】

区 分	第22期 (H31.4～R2.3)	第23期 (R2.4～R3.3)	第24期 (R3.4～R4.3)
店舗利用者数	9,907 人	4,412 人	6,471 人

## 6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 22 期	第 23 期	第 24 期
		自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	80,666	55,335	66,179
	売上原価	56,664	46,497	48,498
	売上総利益	24,002	8,838	17,681
	販売費及び 一般管理費	33,040	24,799	28,309
	営業利益	△9,038	△15,961	△10,628
	営業外収益	4,097	9,379	7,856
	営業外費用	34	119	215
	経常利益	△4,975	△6,701	△2,987
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	△4,975	△6,701	△2,987
	法人税等	290	290	180
	当期純利益	△5,265	△6,991	△3,167
項 目		令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	117,179	114,687	112,064
	負 債	13,850	18,350	18,894
	純資産	103,328	96,337	93,170
	資本金	184,150	92,075	92,075
	利益剰余金	△80,822	△6,991	△3,167
その他	0	11,253	4,262	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	道の駅よしかわ杜氏の郷 管理業務委託料	3,292	3,684	3,787	
計		3,292	3,684	3,787	

### (2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	補助金（助成金）	30	425	1,225	中小企業者チャレンジ応援事業 補助金、事業者経営支援金
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		30	425	1,225	

## 8 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

第25期は、国内でのレジャーの機運、経済活動の再開を機と捉え、売店では定期的なイベントの開催、営業では県外催事への参加を中心に以下の施策を実施し、売上高75,860千円、経常利益の単年度黒字化を目指します。

#### (1) コロナ禍に対応した販売の実施

- ①レジャー需要に即したイベントの開催
- ②県外百貨店での催事による販売の再開

#### (2) 新たな需要を生む日本酒消費者への営業活動（継続）

- ①インターネットを通じた営業活動の強化
- ②若者に親しまれる清酒の開発

#### (3) 店舗売上向上の推進（継続）

- ①道の駅と連携したイベントの開催
- ②来店しやすい環境づくり

#### (4) 組織の活性化等

- ①部署部門問わず横断的な仕事の共有による効率化
- ②施設内外の衛生管理と整理整頓の実施
- ③効率化に向けた設備導入や安定供給に向けた設備更新等の検討

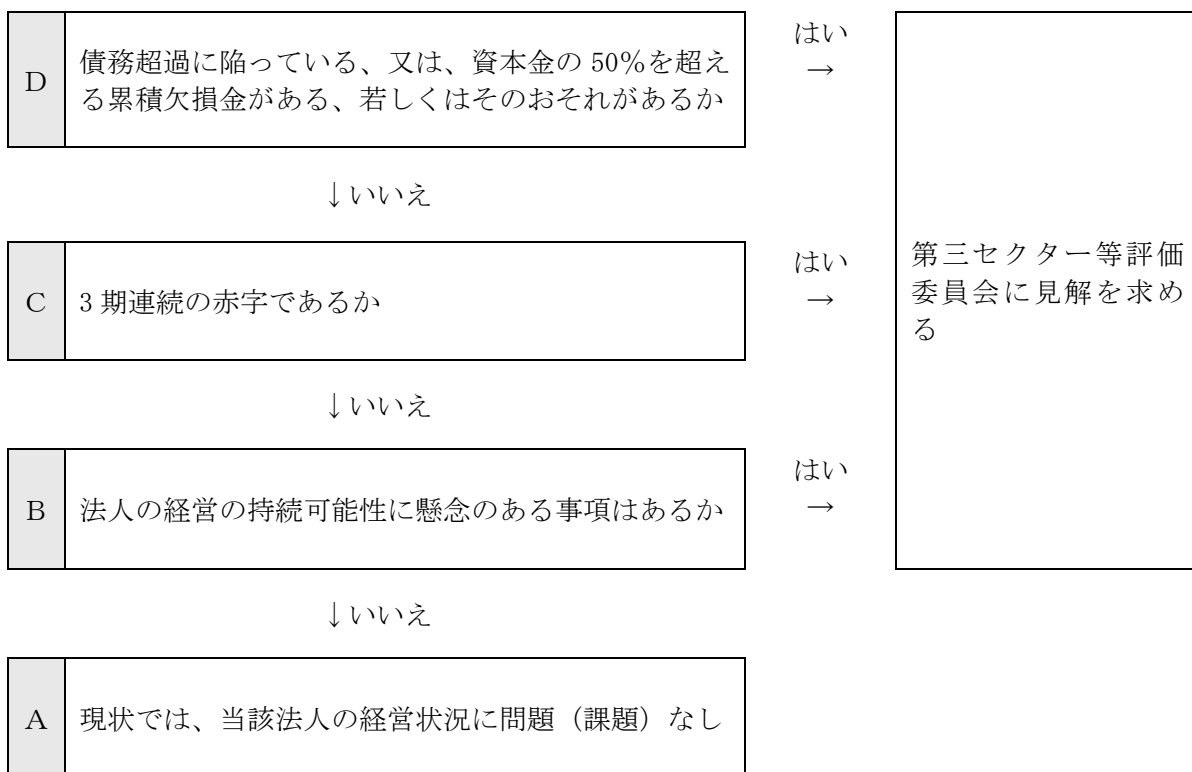
### (2) 中長期経営計画

なし

9 令和4年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C
--------------	---

【特記事項】

7期連続で単年度赤字を計上したことからC評価となるが、令和3年度の第三セクター等評価委員会での指摘のとおり、株式譲渡による民営化の取組を進めていることから、次頁以降の分析・評価の対象としないこととした。

10 令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価に対する対応状況

令和3年度 第三セクター等評価委員会の分析・評価【概要】
<p>① 黒字化に向け、製造原価等の見直しが必要である。</p> <p>② 売上げについて、販路・販売先ごとに推移や変動要因を分析する必要がある。</p> <p>③ 目先の改善課題やアクションプランだけでなく、中長期的なビジョンを描くべきであり、M&amp;Aという選択肢を前向きに検討すべき。</p>
第三セクターによる対応状況
<p>① 仕込み時期以外（夏期）の人員体制を見直すなど、製造原価削減に向けた取組を進めました。</p> <p>② コロナ禍により催事での売上げが減少しているため、地元企業等へトップセールスや地域での感謝祭の開催など売上げの挽回に努めました。</p> <p>③ 取締役会において、民営化の検討を開始することを承認しました。</p>
市担当部署による対応状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会、地域協議会、株主に対し、同社の経営健全化に向けた取組（民間譲渡）についての説明を行いました。</li> <li>・安定した経営体制の構築に向けて、民間譲渡を第一候補として、関係者への説明や株式評価を実施しました。</li> </ul>

## 第 24 期 事業報告書

新型コロナウイルス感染症に加え、戦争による混乱が世界経済に大きな打撃を与えており、これらを起因とした物価上昇は長期化の不安が拭えない状況にあります。

弊社でも、政府のまん延等重点措置により、1月中旬からの2ヶ月間は、売店が閑散とした状態が続きました。そんな中でも、地元のお客様や株主様に多く来店いただき、弊社の商品をご愛顧いただいたことに、心より感謝申し上げます。

酒造りにつきましては、昨年よりは造りを増やしましたが、コロナ禍前のような販売の見通しが見えない状況であり、生産量や在庫を抑えている状況にあります。感染が収束した際には、酒造り、販売ともに皆様のご期待に応えていきたいと考えています。

第24期は、株主総会での事業計画に従い、「新たな需要を生んでいる日本酒消費への営業活動」「店舗売上向上の推進」「組織の活性化」をテーマに営業を行いました。

「新たな需要を生んでいる消費への営業活動」は、県内ミュージシャンとのコラボ日本酒や「ゆず酒」の開発・販売、ゆず酒のお披露目も兼ねた秋の感謝祭の実施等を行い、「若者・女性」という普段日本酒に親しみのない層の取り込みを図りました。

次に「店舗売上向上の推進」につきましては、店内での総菜販売により日本酒の購入を促す取り組みや、12月に開催した道の駅のそば祭りにて「新酒と新そばのコラボセット」の販売、営業時間を1時間遅い18時に変更する等の取り組みをしました。

また「組織の活性」につきましては、製造・経理・営業による定例ミーティングを実施し、部門間での横断的な仕事の共有や効率化を図りました。また、老朽化した設備更新を検討し、問題点とそれに対する改善策の検討を行いました。

以上の取り組みの結果、今期の売上げは前年度比+10,844千円、前年度比+19.6%となりました。また国・県・市からの補助金の給付手続きや従業員の休業による人件費の圧縮等にてコロナ禍の売上減少への対応をしましたが、当期純損失 3,167千円（前年度比3,824千円の改善）となりました。

翌期もコロナ禍での営業となりますが、売上げの増加と経費の縮減に努め、利益の確保に努めてまいります。





# 決 算 報 告 書

第 24 期

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

株式会社 よしかわ杜氏の郷

上越市 吉川区杜氏の郷1番地

# 貸借対照表

株式会社 よしかわ杜氏の郷

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	58,472,122】	【流動負債】	6,219,190】
現金及び預金	16,672,363	買掛金	883,472
電子記録債権	1,501,590	未払金	3,065,953
売掛金	8,603,794	前受金	29,265
カード等未収入金	99,272	未払消費税等	2,060,500
商	887,690	未払法人税等	180,000
製	5,260,931	【固定負債】	12,674,352】
品	19,938,828	長期借入金	12,000,000
半製品	2,572,158	長期未払金	674,352
原材料	2,481,688	負債の部合計	18,893,542
貯蔵品	173,611	純 資 産 の 部	
前払費用	251,184	【株主資本】	93,170,269】
未収入金	198	資本金	92,075,000
未収還付法人税等	28,815	(資本剰余金)	( 4,262,337 )
立替金		資本準備金	0
【固定資産】	53,591,689】	その他資本剰余金	4,262,337
(有形固定資産)	( 52,967,969 )	(利益剰余金)	( -3,167,068 )
建物	30,661,650	利益準備金	0
建物付属設備	1,436,491	(その他利益剰余金)	( -3,167,068 )
構築物	2,345,985	繰越利益剰余金	-3,167,068
機械装置	582,592		
車両運搬具	1		
工具器具備品	1,049,097		
土地	15,898,270		
有形リース資産	993,883		
(無形固定資産)	( 505,500 )		
電話加入権	40,000		
無形リース資産	465,500		
(投資その他の資産)	( 118,220 )		
出資金	60,000		
投資有価証券	50,000		
リサイクル預託金	8,220		
【繰延資産】	【 0 】		
		純資産の部合計	93,170,269
資産の部合計	112,063,811	負債・純資産合計	112,063,811

# 損益計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	金	額
【 売 上 高 】		
売 上 高	62,880,956	
指 定 管 理 費 収 入	3,442,740	
売 上 値 引 戻 り 高	△ 145,054	66,178,642
【 売 上 原 価 】		
期 首 商 品 棚 卸 高	736,803	
期 首 製 品 棚 卸 高	33,703,480	
商 品 仕 入 高	3,937,988	
酒 税	3,388,000	
当 期 製 造 原 価	32,818,927	
合 計	74,585,198	
期 末 商 品 棚 卸 高	△ 887,690	
期 末 製 品 棚 卸 高	△ 25,199,759	48,497,749
売 上 総 利 益		17,680,893
【 販 売 ・ 一 般 管 理 費 】		28,309,252
営 業 損 失		10,628,359
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	97	
受 取 配 当 金	909	
為 替 差 益	28	
雑 収 入	7,854,949	7,855,983
【 営 業 外 費 用 】		
支 払 利 息	209,992	
雑 損 失	4,700	214,692
経 常 損 失		2,987,068
【 特 別 利 益 】		0
【 特 別 損 失 】		0
税 引 前 当 期 純 損 失		2,987,068
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		180,000
当 期 純 損 失		3,167,068

## 販売費及び一般管理費明細書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

(単位：円)

科 目	金 額
役員報酬	60,000
給料・賞与	8,385,913
雑給	1,349,121
法定福利費	1,207,616
販売器送料	690,865
容器配	139,399
販売促進	1,777,356
燃料	2,399,836
通交	490,619
接告	377,577
広務	343,887
事耗	260,049
消道	2,735,465
保水	98,532
支修	761,945
諸会	350,312
寄租	1,133,058
減管	492,076
雑	990,140
	627,150
	1,164
	11,000
	253,816
	2,025,787
	1,145,027
	201,542
合 計	28,309,252

# 製 造 原 価 報 告 書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

(単位 : 円)

科 目	金	額
【 材 料 費 】		
期 首 材 料 棚 卸 高	2,871,103	
材 料 仕 入 高	11,933,421	
合 計	14,804,524	
期 末 材 料 棚 卸 高	△ 2,572,158	12,232,366
【 労 務 費 】		
賃 金	9,651,604	
法 定 福 利 費	1,830,502	
厚 生 費	351,966	11,834,072
【 外 注 費 】		0
【 製 造 経 費 】		
電 力 費	2,730,829	
ガ ス 代 料	49,820	
水 道 料	84,203	
減 価 償 却 費	1,695,280	
修 繕 費	763,266	
租 税 公 課 料	1,199,284	
保 険 料	206,968	
消 耗 品 費	1,287,677	
雑 費	363,545	8,380,872
総 製 造 費 用		32,447,310
期 首 仕 掛 品 棚 卸		371,617
合 計		32,818,927
当 期 製 造 原 価		32,818,927

## 株主資本等変動計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

		(単位 : 円)
<b>【株主資本】</b>		
資本金	当期首残高	92,075,000
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>92,075,000</u>
新株式申込証拠金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
資本剰余金		
資本準備金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
その他資本剰余金	当期首残高	11,253,186
	当期変動額	
	減資による欠損填補	-6,990,849
	当期末残高	<u>4,262,337</u>
資本剰余金計	当期首残高	11,253,186
	当期変動額	-6,990,849
	当期末残高	<u>4,262,337</u>
利益剰余金		
利益準備金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
別途積立金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
繰越利益剰余金	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	
	当期純利益	-3,167,068
	減資による欠損填補	6,990,849
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>
その他利益剰余金	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	3,823,781
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>
利益剰余金計	当期首残高	-6,990,849
	当期変動額	3,823,781
	当期末残高	<u>-3,167,068</u>

# 株主資本等変動計算書

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

(単位 : 円)

自己株式	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
自己株式申込証拠金	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
株主資本合計	当期首残高	96,337,337
	当期変動額	-3,167,068
	当期末残高	<u>93,170,269</u>
【評価・換算差額等】	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
【新株予約権】	当期首残高	0
	当期変動額	0
	当期末残高	<u>0</u>
【純資産合計】	当期首残高	96,337,337
	当期変動額	-3,167,068
	当期末残高	<u>93,170,269</u>

## 個別注記表

株式会社 よしかわ杜氏の郷

自 令和 3年 4月 1日  
至 令和 4年 3月31日

### (資産の評価基準及び評価方法)

#### 1. 有価証券の評価基準及び評価方法

##### (1) 其他有価証券

移動平均法による原価法を採用しております。

#### 2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

### (固定資産の減価償却方法)

#### 2. 固定資産の減価償却方法

##### (1) 有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については旧定額法を採用しております。

##### (2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

ただし、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

##### (3) リース資産

法人税法の規定に基づくリース期間定額法を採用しております。

### (その他 計算書類の作成基準)

#### 3. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### (会計方針を変更した場合)

#### 1. 科目の分割

「販売促進費」は、従来「広告宣伝費」に含めて処理をしておりましたが、当期から区分して表示しております。

### (貸借対照表に関する注記)

1. 有形固定資産の減価償却累計額 156,698,876円

### (株主資本等変動計算書の注記)

○発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

### (一株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額 25,297円 38銭

1株当たり当期純損失 859円 91銭



## 第25期事業計画書

### 1 事業方針

昨年度は新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、弊社を取り巻く経営状況が厳しい状況にありました。とりわけ、観光来客数が激減し売店売上げは苦しい状況にあり、また県外大手百貨店の催事への出店が困難な状況であることも売上げの減少に影響を与えていました。

ただし、本年度はゴールデンウィーク以降、国内でのレジャーの機運が高まっており、経済活動の再開がみられます。これを機と捉え、売店では定期的なイベントの開催、営業では県外催事への参加を進めてまいります。また、昨年度の事業計画を継続し、以下の取り組みを推進することで、単年度黒字に向けた経営を行います。

### 2 事業計画

#### (1) コロナ禍に対応した販売の実施

- ① レジャー需要に即したイベントの開催
- ② 県外百貨店での催事による販売の再開

#### (2) 新たな需要を生む日本酒消費者への営業活動（継続）

- ① インターネットを通じた営業活動の強化
- ② 若者に親しまれる清酒の開発

#### (3) 店舗売上向上の推進（継続）

- ① 道の駅と連携したイベントの開催
- ② 来店しやすい環境づくり

#### (4) 組織の活性化等

- ① 部署部門問わず横断的な仕事の共有による効率化
- ② 施設内外の衛生管理と整理整頓の実施
- ③ 効率化に向けた設備導入や安定供給に向けた設備更新等の検討



第25期収支計画書

単位：千円  
(千円未満四捨五入)

区 分	第25期計画			第24期実績	
	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比
売上高	75,860	100.0%	114.6%	66,179	100.0%
売上原価	54,513	71.9%	112.4%	48,498	73.3%
売上総利益	21,347	28.1%	120.7%	17,681	26.7%
販売費及び一般管理費	26,721	35.2%	94.4%	28,309	42.8%
営業利益	△ 5,374	-7.1%	50.6%	△ 10,628	-16.1%
営業外収益	5,782	7.6%	73.6%	7,856	11.9%
営業外費用+法人税等	400	0.5%	101.3%	395	0.6%
当期純利益	8	0.0%	-	△ 3,167	-4.8%